

〔世界を変えた書物〕展 金沢展

特別展示

# 「手稿の中の宇宙 レオナルド・ダ・ヴィンチ を旅する」

探究の渦中にこそ、創造の種子が胚胎する。

2022年10月21日(金)―30日(日)

会期中無休 入場無料 10時―18時

〈入場は開場の30分前まで〉

## 金沢21世紀美術館「市民ギャラリー B」(B1F)

\*市民ギャラリーA [世界を変えた書物]展と会期、会場が異なります。ご注意ください。



**会場**  
金沢21世紀美術館  
石川県金沢市広坂1-2-1 (〒920-8509)

**アクセス**  
路線バス  
JR金沢駅バスターミナル東口3番、  
7番乗り場よりバスにて約10分  
「広坂・21世紀美術館」にて下車すぐ。  
東口8-10番乗り場よりバスにて約10分  
「香林坊」下車、徒歩約5分。

**お問い合わせ**  
金沢工業大学企画部  
石川県野々市市扇が丘7-1 (〒921-8501)  
電話: 076-246-4784  
E-mail: koho@kanazawa-it.ac.jp

**本展公式サイト**  
<https://www.kanazawa-it.ac.jp/shomotu/>  
最新情報は展覧会公式サイトをご確認ください。



主催: 金沢工業大学、北国新聞社  
後援: 石川県教育委員会、金沢市教育委員会 協力: 小学館  
監修: 山本貴光(金沢工業大学、客員教授)、  
橋本麻里(金沢工業大学、客員教授)、  
笠岡暁(元金沢工業大学教授、ライブラリーセンター顧問(2020))  
会場構成・展示デザイン: 金沢工業大学建築学部宮下研究室  
教授 宮下智裕・大学院生 宇部生  
総合プロデュース: 二飯田憲蔵(金沢工業大学 企画部)  
制作: ハクシヨン  
本展公式サイト: <https://www.kanazawa-it.ac.jp/shomotu/>

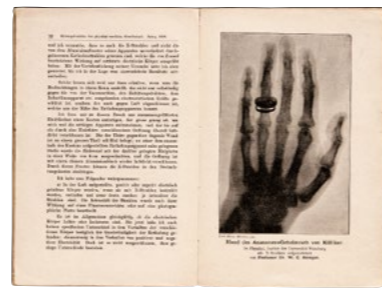
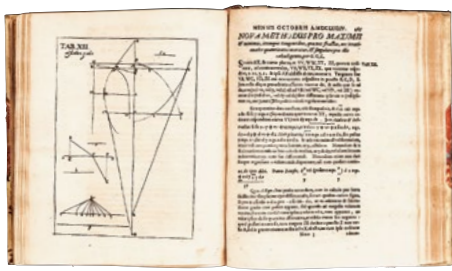
金沢21世紀美術館  
「市民ギャラリーA、B」  
\*但しギャラリーB「特別展示」は10月30日までの開催  
2022年10月21日(金)―11月5日(土)  
会期中無休 入場無料 10時―18時  
〈入場は開場の30分前まで〉

〔世界を  
変えた  
書物〕展  
金沢展

コペルニクス、ガリレイ、  
ニュートン、デカルト、  
アインシュタイン――  
問いから探究が始まり、  
世界の見え方が変わる。

THE BOOKS  
THAT CHANGED  
THE WORLD  
2022.10.21 fri—30 sun

THE BOOKS  
THAT CHANGED  
THE WORLD  
2022.10.21 fri—11.5 sat



「世界を変えた書物」展 金沢展  
 特別展示  
 「手稿の中の宇宙  
 レオナルド・ダ・ヴィンチ  
 を旅する」  
 探究の渦中こそ、  
 創造の種子が胚胎する。

レオナルド・ダ・ヴィンチ「バリ手稿」(複製版)、1988-1991年、ジュンティ社・岩波書店

「世界を変えた書物」展 金沢展  
 THE BOOKS THAT CHANGED THE WORLD

問いから探究が始まり、  
 世界の見え方が変わる。

「世界とは何か」。古代の哲学者=科学者たちが抱いた根源的な問いは、無数に枝分かれし、絡み合いながら、大樹の枝、あるいは根のように広がっていきました。その結び目、といえるのが「書物」です。たとえばコペルニクスの地動説、ケプラーの楕円軌道説、そしてニュートンの力学は、いずれも書物のかたちで示されたものでした。時代の限界に制約され、多くの誤りと未解決の問題を抱えながらも、新しく創造的な問いを生む契機を宿した書物たちの連なりが、「世界」の素顔を少しずつ明らかにしてきたのです。今展では、それら自然科学・工学関連の稀観書約140冊を、一堂に展示します。いずれも15世紀に普及した活版印刷術によって、多くの人に読まれるようになった印刷本で、金沢工業大学図書館の稀観書コレクション〈工学の曙文庫〉からの出品です。



- 1 ユークリッド『原論(幾何学原本)』ヴェネツィア、1482年、初版
  - 2 レギオモンタヌス『プロレマイオスの偉大な「アルマゲスト」のヨハネ・レギオモンタヌスによる要諦』ヴェネツィア、1496年、初版
  - 3 ヒエロニムス・ブルンシュヴィヒ『真正蒸留法』ストラスブル、1500年、初版
  - 4 ニコラス・コペルニクス『天球回転論』ニュールンベルグ、1543年、初版
  - 5 ガリレオ・ガリレイ『星界の報告』ヴェネツィア、1610年、初版
  - 6 ルネ・デカルト『哲学の原理』アムステルダム、1644年、初版
  - 7 ゴットフリート・ウィルヘルム・ライブニッツ『極大と極小に関する新しい方法』ライプツィヒ、1684年、初版
  - 8 トーマス・ヤング『自然哲学及び機械技術に関する講義』ロンドン、1807年、初版
  - 9 ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン『新種の輻射線について』ヴュルツブルク、1895-96年、初版
- \*掲載の書物は展示内容と異なる場合があります。

「工学の曙文庫」

本展でご紹介する稀観書は、すべて金沢工業大学ライブラリーセンターに設置された「工学の曙文庫」のコレクションです。同文庫は1982年の開設以降現在まで、活版印刷術の発明以降に刊行された、科学史上重要な発見・発明を記録した刊本の初版を中心に、およそ2000点を収蔵しています。

会場構成・展示デザイン

金沢工業大学建築学部教授 宮下智裕  
 宮下研究室 大学院生・学部生  
 岡崎佑哉、小室泰斗、古城奈央、村西理子、八木瑞基、今泉光琳、平井聡吾、山中祥平、漆原美優、金川乃々、城野蒼太、太刀川鈴音、西岡愛奈、藤澤理央、藤森雅也、松田真之介、矢野碧、横尾優人、浦野良太、加納和篤、窪田榛奈、小島智寿、越智恒成、中山咲里、白井涼花(順不同、2022年8月現在)

15世紀半ばのフィレンツェに生まれたレオナルド・ダ・ヴィンチは、画家として、今日の世界で誰よりもあまねく名を知られる存在でしょう。しかし彼の探究と創造は、絵画の領域だけに留まるものではありません。レオナルドもまた、「世界とは何か」という根源的な問いに駆り立てられ、現代であれば音楽、建築、幾何学、光学、解剖学、流体力学、航空工学と分類されるような、多彩な領域へと関心を広げていきました。

その詳細に分け入るための手がかりとなるのが、各地に分蔵される手稿類です。絵画や彫刻として完成に至るまでの、生々しい試行錯誤の痕跡を留めた「ノート」。そこに混沌として散らばる無数の思索の断片は、わずかに現存する完成作品に結びつくものもあれば、行方のわからないものもあります。

特別展示「手稿の中の宇宙 レオナルド・ダ・ヴィンチを旅する」では、金沢工業大学ライブラリーセンターが所蔵する『バリ手稿』『アトランティコ手稿』のレプリカを用い、世界を変える問いはどのように生まれるのか、探究の過程で問いそのものが、そして問う者自身がいかに変容するのかを、インスタレーションとレプリカの展示によって検証します。「世界を変える」とは自らが変わることであるのだと、実感いただけるでしょう。



「世界を変えた書物」公式ガイドブック

A4ファイル

モレスキンノートブック

オリジナルTシャツ

「世界を変えた書物」展  
 スペシャルショップ OPEN

本展覧会の開催を記念して、展示される貴重な書物をモチーフにしたクリアファイルやノートバッグ、ノートなど、オリジナルの展覧会グッズを販売します。また本展監修者である山本貴光・橋本麻里共編著による本展公式ガイドブック『世界を変えた書物』も合わせて販売します。制作販売：小学館

- ・山本貴光 著、橋本麻里 編『世界を変えた書物 THE BOOKS THAT CHANGED THE WORLD』2,750円(税込、予価)、B5版、176ページ、小学館
- ・A4ファイル 各300円(税込)
- ・モレスキン ノートブック 3,800円(税込)
- ・オリジナルTシャツ 2,000円(税込)